

協立病院だより

2023 1 月号
No.172



謹んで新年のお喜びを申し上げます。
本年もあやべ、ふくちやま、両協立診療所、訪問介護ステーション共々、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。
旧年の最も大きなインパクトのあった社会的出来事を3つ挙げるなら、①ロシアウクライナ戦争、②新型コロナウイルス感染症の第7波、③安倍首相暗殺と国葬、を選びます。
①昨年2月24日ロシアのウクライナ侵攻で一方的な開戦となりました。戦争はこの原稿執筆時は今も続き、両国から軍人にも民間人にもおびただしい数の死者がでています。私達には「人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります」という綱領があります。一日も早い戦争終結と今度こそ国際社会による有効な平和の枠組みの創設を願って今年も行動します。
②オミクロン株BA・5系統を主体としたコロナ感染症の第7波では、波が落ち着く9月末までに1・2万人もの命が奪われました。そして第8波が訪れた今、国はコロナウイルス感染症の5類



院長 玉木 千里

ごあいさつ

化を進めようとしています。しかし、仮に5類化されたとしても、強力な感染力をもつウイルスにより病院や高齢者施設ではクラスターが頻発し、病床逼迫とその先にある高齢者の死者の増加は避けられないでしょう。求められるのは、5類化でも補助金で釣って無理やり市中病院にコロナ患者を押し付けることもなく、新興感染症の発生を予期した保健予防事業を始めとした医療インフラの再構築のはずです。
③昨年7月8日、衆院選の応援演説中に安倍元首相が凶弾に倒れました。対話で物事を解決しようとする民主主義国家で、暴力でものを言わせようとする態度は決して許されるものではありません。しかし、混乱の中、岸田首相は安倍氏の「国葬」を法的根拠がないにも関わらず閣議決定し、折しも国民が物価高で生活にあえぐ中、十分な国民への説明なしに12・4億円もの税金を投じて強行しました。税金の使いみちを決めるのは主権の存する国民です。自分たちの都合で政策をすすめる政府の民主主義の破壊行為を許すわけにはいきません。
本年も、「住民のみなさんの人権と健康、暮らしを守るために、病院と関連事業所一丸となってその使命を果たしていく」という決意を新たにしたいと思います。
そして差額ベッド料なし、無料低額診療事業、HPH活動などを通して、地域住民のみなさんと手を携えて無差別平等の医療を推進して参ります。一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

おすすめレシピ

1人分

カロリー: kcal
塩分: g

こころも満たす
スイーツ

「寒くて外出したくないけど、何かちよつと甘いもの食べたいな」そんな時のおやつに、手頃なサイズのロールケーキに挑戦してみませんか？手軽にホットケーキミックスでスポンジ生地が手づくりできるので、クリームをたっぷり使用したりチョコクリームや好きなフルーツでアレンジしてみてください！！

レンジで簡単 ミニロールケーキ

材料 (6切れ分)

容器底15cm×24cmくらいのものでOK
(レンジ対応タッパーでOK)

- 卵……1個
- 砂糖……大さじ1と1/2
- 牛乳……大さじ2
- バター……12g
(またはサラダ油大さじ2)
- ホットケーキミックス…60g
- クリーム適量と
フルーツはお好みで



作り方

- ①牛乳とバターを小さな容器に入れレンジで温め溶かし混ぜておきます
- ②ボウルに卵と砂糖を加え湯せんしながらもったりとするまでしっかりと泡立ちます(かなり白っぽくなります)

生地を持ち上げてリボン状に跡が残る程度まで(ハンドミキサーがあれば時間短縮になります)

- ③②に①を加えて1回混ぜ合わせます
- ④ホットケーキミックスを振るいにかけてながら加え、さっくりとゴムベラで大きく切るようにふわりと素早く混ぜ合わせます
- ⑤底から持ち上げるように、粉が少し残っていてもまんべんなく全体にいきわたるようになります

ように(混ぜすぎないように)、出来たら直ぐに加熱を)

⑤容器にクッキングシート(ラップでも可)を敷き④を流し入れる。生地をめいばい広げてふわりとラップをします

⑥電子レンジ500Wで2分加熱。まだ生なところがあれば向きを変えて、さらに30秒再加熱してみてください

※ご使用の電子レンジの機種や耐熱容器の種類、食材の状態により加熱具合に誤差が生じます。必要に応じて加熱時間の調整をします

⑦粗熱を取りラップでぴっちり包んで冷まします

⑧冷めたらお好みのクリームやフルーツを手前から巻いて、巻き終わりを下にしてラップをし、冷蔵庫で寝かせてください(約30分〜1時間程度)

生地とクリームが安定して、カットしやすくなります



戦前の 民医連活動に学ぶ

2022年11月24日、

北部地域の民医連事業所をオンラインで繋いで北部地域学術運動交流集会を開催しました。

記念講演は、長年北部

地域で院長や診療所長として活躍され、現在も多く事業所で診療されている川崎繁医師に「京都北部での民医連の歴史と伝えたいこと」のテーマで講演頂きました。戦前の福知山での大衆診療所開設から、戦後に綾部に診療所が作られ、綾部協立病院、そして京都協立病院や各地の診療所へと広がっていった歴史を体験談交えて語って頂きました。川崎医師が学生時代の平和活動で出会った人々とのつながりの中で「地域のひととともに歩む医師になろう」と決意され、その思いを原点に長年民医連で取り組み続けてきたことを伺い、私たちもその思いを受け継いでいきたいと思います。

分科会は2会場に分かれ、各事業所から計19演題の報告がありました(そのうち病院からは10演題)。憲法、民医連綱領などを踏まえ、多職種連携や患者・利用者の願いを叶える取り組みがたくさん報告されました。また、慢性的な介護スタッフ不足の問題など、患者・利用者を支えるためには制度改善の働きかけが重要なことも確認できる機会となりました。



第16回北部地域学術運動交流集会を開催



Kyoto Health Association
Since 1956

公益社団法人 京都保健会 京都協立病院

〒623-0045 京都府綾部市高津町三反田1番地

FAX : 0773-42-9459 (代表)



ISO 9001認証取得

TEL (代表) 0773-42-0440
(小児科直通) 0773-42-0025



<https://www.kyoto-kyoritsu.org/>

発行：京都協立病院広報委員会